



3年学年だより

発行日:令和6年6月28日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:星野 浩 NO. 3



考え、行動する力をつける

校長代理

中澤 務

5月30日に南高祭体育祭の部が無事行われました。今週期末テストを終え、来月12日には合唱コンクールが開催されます。南高・南高附属中の皆さんが熱心に学習活動や行事に取り組む姿勢は、いつも素晴らしいと感じています。しかし、そうした学校の日常も、安全に取り組むことができる状況があればこそのことです。

6月20日7校時、能登町立能都中学校から久田倫子先生を講師にお招きして講演会を行いました。久田先生は今年の1月に南高附属中の授業視察においでになる予定でしたが、能登半島地震があり、半年ほど来ることができませんでした。今回、ようやくおいでいただけることになったのですが、せっかくの機会なので、と私が無理をお願いし、南高附属中学生の皆さんに能登町の現状と学校の様子などについてお話しいただくことにしました。

久田先生はご自身も自家用車に寝泊まりされたり、水道が使えない状況を経験されたりしながら、1月15日からの学校再開や生徒の支援を懸命に進めてこられたことを話してくださいました。また、在校生やPTA、ボランティア、避難民の方の協力によって、避難所の引っ越しを行い、3月には体育館で卒業式を行うことができたことなど、学校の状況もお伝えいただきました。

能都中学校のホームページには卒業式での三井松夫校長先生による式辞が掲載されています。

今年度は、学校全体で防災教育にも取り組み、防災に関する様々な学習を通して、皆さんの防災への意欲も高まってきたと感じていました。そうした中で一月一日の地震は、想定を上回る規模で発生し、甚大な被害とともに、私たちの日常を一変させました。普通のことがいかにありがたかったか、身に染みて感じています。(中略) 命を大切にし、守るために、何が最善であるか、考え・行動する力を身に付けてほしい。できれば、その対象を自分自身にとどまらず、家族や友人、地域の人にもまで広げ、考え・行動できる人になってほしいと願っています。(能登町立能都中学校 HP 令和5年度卒業証書授与式学校長式辞より抜粋)

久田先生はご講演を通して、「自分たちで考えて行動することの大切さ」をお話してくださいました。地震後に生徒の意識が変わってきたこと、避難訓練で生徒が自分で考えて避難行動をするようになったことなど、私たちの防災意識を見直す視点をいただくことができました。急な企画にも関わらず、南高附属中学生の皆さんが熱心に講演を聞いてくれたことをうれしく思っています。今回の講演をきっかけにして、日頃の防災への意識を高め、状況に応じて考え、行動する力を大人も子どももみんなを高めていきたい、と思いました。

合唱コンクールに向けて

体育祭が終わり、一息つく間もなく、校内ではあちこちで歌声が聞こえてくるようになりました。7月12日（金）に行われる合唱コンクールの練習が始まりました。文化委員や指揮者・伴奏者、パートリーダーを中心に一生懸命練習しています。自分たちで録音・録画を分析して日々高めあっています。どのクラスも一丸となってより良い合唱をつくりあげようとする姿がとても素敵です。

そこで、文化委員に現段階での練習の様子、当日の見どころや意気込みを聞きました。

1組「十字架の島」指揮： 伴奏：

1組では、昼休みには主にパートごとの練習、放課後には全体練習を行っています。最初は音程もボロボロで成り立つのかさえ心配でしたが、パート練の成果もあり、とても迫力のある合唱になっています。これからさらに深みのある合唱にしていけるので楽しみにしてください。この曲は特に歌詞を大切にしているので、ぜひ情景を思い浮かべながら聞いてほしいです。優勝は1組がいただきます。 パワーで必ず勝ちます！

文化委員： ・

2組「ひとつの朝」指揮： 伴奏：

3年2組では、「ひとつの朝」を歌います。この曲は、ソプラノ、アルト、テノール、バスの4つのパートに分かれていて、4つのパートのバランスを合わせることを頑張りました。始めは音を取るのも大変でしたが、音楽の授業や昼、放課後練でパートリーダーがパートをまとめながら熱心に取り組み、みんなが自信をもって歌えるようになりました。強弱の変化を大切に歌います。明るく希望をこめた「ひとつの朝」、優勝目指して頑張ります！ 文化委員： ・

3組「青鷺」指揮： 伴奏：

私たち3組は「青鷺」を歌います。青鷺は各パートの音色が一つに合わさった時にとてもきれいに聞こえるので、どのパートも日々の練習を頑張っています。各パートだけでなく、指揮者・伴奏者は毎日練習に取り組み、クラスのためにアドバイスや声掛けをしてくれています。見どころは、サビにかけて盛り上がっていく掛け合いです。絶対に優勝できるように頑張ります。文化委員： ・

4組「消えた八月」指揮： 伴奏：

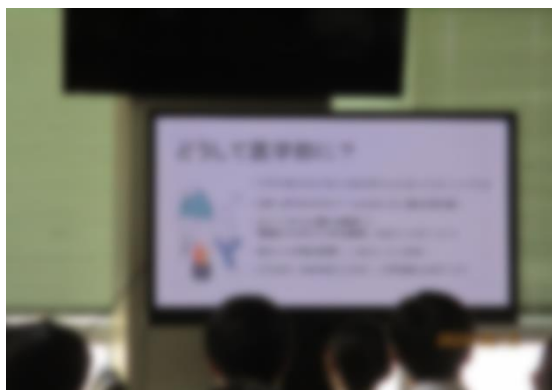
どのパートも出席率がほぼ100%です。指揮者や伴奏者が言ったアドバイスをよく聞いたり、うまくできないところを積極的に練習したりしています。このクラスの見どころは、明るいところと暗いところのドラマチックなコントラストです。4組の曲名は「消えた八月」ですが、優勝の可能性と私たちのやる気は消えることはありません。学校行事は基本的に弱い神馬級ですが、今回は熱い光と風の中で優勝杯を頂きます！

文化委員： ・

中学校最高学年の合唱、素晴らしい歌声を響かせてくれることでしょう。本番が楽しみです。

卒業生講話

6月15日(土)に卒業生講話がありました。4名の卒業生が来てくださり、大学生活のこと、進路選択や将来のこと、勉強のことなど盛りだくさんの内容でした。講演会が終わった後も、現在EGGで取り組んでいる卒業論文についての質問をしたり、進路相談をしたりと、積極的に関わっている様子が見られました。先輩方の話を聞いて、将来のことを考えるきっかけになったらいいなと思います。



能登についての講演

6月20日(木)に能登町立能都中学校から来ていただいた先生の講演を聞きました。1月1日に地震が起こってから半年が経とうとしています。地震が起こった時の様子や、その後の学校生活、能都中学校で行っている避難訓練について、クイズを交えて防災講座という形でお話をしてくださいました。地震を身近に捉えられた貴重な経験になったことと思います。



みちをの独り言

今月は私たち11期に、短い間でしたが新しい仲間が加わりましたね。クラスによって交流できる時間の差はあったかもしれませんが、みなさんの「他者を受け入れる気持ちの大きさ」に改めて感心し、嬉しく思いました。「他者を受け入れられる人は、他者からも受け入れてもらえる」ことが多いです。「他者を応援できる人は、他者から応援してもらえる」ことが多いです。今月(6月)末、もしくは来月(7月)初めから、多くの運動部で、夏の大会が始まります。運動部の多くの人が、この大会に向けて部活動にエネルギーをかけてきたと思います。ぜひとも入部から積み重ねてきたものを発揮できるように頑張ってください。そしてそのためにもお互いに応援し合える11期でいられたらなと思います。